

平成30年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	53	学校名	静岡県立川根高等学校	校長名	須藤 隆広
------	----	-----	------------	-----	-------

<評価の基準>

- A：十分目標を達成することができた（目標達成率75%以上）
 B：おおむね目標を達成することができた（目標達成率50%以上～75%未満）
 C：あまり目標を達成することができなかった（目標達成率25%以上～50%未満）
 D：ほとんど目標を達成することができなかった（目標達成率25%未満）

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

柱	取組目標	成果目標	担当	達成状況	評価	成果と課題
ア	生徒一人一人の目標実現のための確かな学力を身につける学習指導や授業改善の取組を積極的に行う。	テスト期間における家庭学習時間の平均が180分以上。	教務課	一学期中間～二学期末 普通 特進 1年：133分, 164分 選択 特進 2年：142分, 199分 3年：116分, 285分	B	2・3年生特進クラスでは目標を達成できた。テスト週間からの家庭学習については定着しつつあるが、今後はテスト週間以外の家庭学習と学習内容の充実が求められる。
		「授業に集中して取り組んでいる」「この授業が分かる」がともに95%以上。		「授業に集中して取り組んでいる」が90% 「この授業が分かる」が89%	B	ともに90%以下であった。AL型授業や遠隔通信システムを利用した授業を工夫することで集中できる生徒や授業内容がわかる生徒を増加させることが課題となる。また、わかる授業と家庭学習をつなげることができれば学力成績も期待できる。
		各教員がAL型授業を各学期1回以上。	教務課 研修	AL型授業を各学期に 1回以上95% 3回以上58%	A	各授業においてAL型授業が浸透してきたため、生徒は主体的・対話的な学習ができた。遠隔通信システムを利用したAL型授業も行うことができたが、更に有効活用できるように研究する必要がある。
		進学希望者のGTZでランクが上昇した生徒が60%以上。	進路課	1年55% 2年70% 3年56% 全体60% (進研模試7月と11月の結果を比較)	A	2年生の上昇率が著しいのは、担任指導の模試対策や呼びかけによる進路意識が高まってきたためである。今年度は特進の進路検討会も行うことができた。引き続き全職員で取り組みたい。
		卒業時の進路実現100%。	進路課	就職希望者内定率 100% 進学希望者決定率 97%	B	チューター指導を核として3年生一人一人に寄り添い全教職員で指導支援を行うことができた。生徒のチューター指導への取り組みせ方について、担任を中心とした全教員に働きかけていきたい。
イ	多様な考え・生き方を尊重し、他者への思いやりの精神を身に付け、社会の中でよりよい人間関係を築ける感性と教養を持った生徒を育成する。	生徒アンケートの「困っている人を見たら助けてあげたい」で95%以上。	生徒課	1年, 2年, 3年, 全体 7月 96%, 94%, 98%, 96% 1月 98%, 100%, 98%, 98%	A	学年全体でのソーシャルスキルトレーニングや個別面談を行うことで、相手の思いを尊重した言動をとれる生徒が多く見られた。今後はより定期的、計画的に行えるようにしていきたい。
		いじめ件数0件。	生徒課	1件	A	お互いの思いの食い違いにより、悩みを抱える生徒もいたが、細かな支援を続け1月まで0件であった。該当案件はSNSに関わる案件であり、今後のスマホ等の指導を徹底したい。
		年間1人読む本4冊。	総務課 図書	1人平均7.5冊	A	読書で親しい環境を整っており、目標を大きく超えることができた。
		貸出冊数を1人当たり年間3冊以上。		貸出冊数0.87冊	C	積極的に活用したくなる図書室を目指し、蔵書の充実や掲示の工夫等を継続して行う。

様式第3号

ウ	基本的な生活習慣を確立し、自ら心身の健康管理を行うとともに、学校生活に積極的に取り組む知・徳・体のバランスのとれた生徒を育成する。	生徒アンケートの「ルールを守る」で90%以上。	生徒課	1年, 2年, 3年, 全体 7月 100%, 93%, 100%, 98% 1月 96%, 100%, 99%, 98%	A	ルールを守るということに関しては概ね良好である。各学年で集会等を利用して服装、身だしなみを確認することができた。今後は生徒一人ひとりがより高い意識でルールを守れるように他分掌と連携し指導、支援したい。
		朝食摂取率100%。	保健課	1年, 2年, 3年, 全体 98%, 97%, 95%, 96%	B	朝食を摂取する習慣がない生徒がいる事が分かった。朝食の大切さを生徒保健委員会等を通じて呼びかけたい。
		生徒アンケートの「部活動に積極的に参加した」で90%以上。	生徒課	1年88%、2年83% 3年97%、全体90%	A	どの生徒も目標や課題を持ちながら意欲的に活動できていた。少ない部員数の部活動もあるため、顧問の連携も含め、全ての生徒が積極的に活動できる部活動運営を目指す。
エ	安全教育・安全管理を徹底することにより、安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。	地域防災訓練への参加率95%以上。	総務課	夏87%、冬77%	B	生徒は積極的に参加し、地域との交流の助けにもなった。年2回のうち少なくとも1回は参加するようにしたい。
		施設・設備に起因した事故の発生件数0。	事務	施設・設備に起因した事故の発生件数0件	A	日常点検や情報収集を行い、情報の共有化、迅速な対応を行った。引き続き、安全・安心な学校生活のために教育環境整備に努める。
		PTA 地区会参加率を70%以上。	総務課	出席率82.8% (H29出席率69.8%)	A	留学生の保護者が参加しやすいうちに会場地を考慮した。更に内容を充実させ出席率の向上に努める。
		ホームページアクセス数を月2,000件以上。		ホームページアクセス数月平均2,500件	A	担当だけでなく、全教職員でホームページの更新ができた。今後はSNSとの両輪を全教職員で担っていきたい。
		学校安全衛生委員会の提言の実現を5件以上。	副校長	4件実現	B	委員会は低調で、実現した4件も些末な内容だった。委員の意識を高め、会を活発な意見交換の場としたい。
		セキュリティセット時刻の短縮前年比15分以上。		4~12月の平均時刻28分短縮	A	目標以上の短縮を達成したが、定時退勤強化日に課題を残した。教職員のWLB意識を更に高めたい。
オ	県外募集に向け本校の魅力推進させるとともに、川根地区ならではの連携型中高一貫教育の充実を図る。	連携中学保護者への広報機会を3回以上。	副校長	中川根中学と川根中学の2回実施	B	中学の行事が決まった後からの実施は厳しい。前年度から申し入れたい。
		連携型中高一貫教育の各事業で毎回PDCAを行う。		各事業で毎回PDCAを行った。	B	毎回アンケートを実施したが、改善改革の余地は多い。
		教育課程の全担当に「夢ぷろ」との関連性を確認する。	副校長	事業後に行うアンケートに「夢ぷろ」の関連を問う項目が設けられた。	A	関係生への意識は十分深まった。次年度は「夢ぷろ」の各事業を体系化し、組織的に運営することで教育効果を高める。
		夢ぷろの各事業で毎回PDCAを行う。		各事業で毎回PDCAを行った。	B	各事業における改善改革の余地は多く、事業間での相互作用も意識した運営を展開したい。
		県外会場での生徒募集説明会2回以上。	副校長 教頭 生徒課	計画・予定した外部団体との連携が全て不調に終わり、県内会場2回のみ実施した。	C	不調に終わったものの、様々なコネクションを駆使した成果は、次年度の確約に表れ、次年度は2回の県外説明会実施が有望視される。
		川根留学生説明会への参加30組以上。		一日体験57組、オープンスクール37組。	A	広報活動の成果が参加数に表れた。更に広報の内容と方法を充実させたい。
遠隔通信システムを活用した授業、交流、研修等合計8回以上。	教頭 教務課	遠隔通信システムを活用した授業、交流等を40回以上行った。	A	授業だけでなく、中学生一日体験や大学・企業との交流等を実施した。次年度は有効的な利用方法を研究や教育効果の検証も行いたい。		